

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 大

上場会社名 松本油脂製菓株式会社

コード番号 4365 URL <http://www.mtmtys.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 山田 正幸

TEL 072-991-1001

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,334	11.6	378	△16.3	424	△17.6	261	△14.9
23年3月期第1四半期	6,569	18.4	452	341.4	515	159.4	307	209.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 263百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △139百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	25.74	—
23年3月期第1四半期	30.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	46,601	37,480	80.0
23年3月期	46,501	37,725	80.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 37,283百万円 23年3月期 37,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,650	5.4	625	△19.7	785	39.3	480	45.9	47.16
通期	27,800	4.7	1,350	15.4	1,700	46.4	1,040	45.6	102.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期1Q	11,281,629 株	23年3月期	11,281,629 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	1,103,408 株	23年3月期	1,103,308 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	10,178,254 株	23年3月期1Q	10,179,550 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、今年3月に発生した東日本大震災で国内サプライチェーンが寸断され、生産活動に多大な影響を受けております。

当社グループの重要な販売分野である国内繊維産業におきましては、生産拠点の海外移行を含む適地生産が完了しており、その影響は軽微であります。一方海外の繊維産業向けでは、中国の内需拡大政策やアジア地域の活況により順調に売上を伸ばしております。

非繊維分野におきましては、国内では自動車産業において原材料不足により大幅減産が実施されましたが、住宅関連は補修用材料の販売が好調に推移しております。また海外向けでは、中国をはじめとするアジア地域での需要は旺盛で、特に中国・東南アジアの自動車産業向けは急拡大しております。

しかし、新興国の様々な分野での需要拡大に伴い、各種原料の高騰が続いており、引き続き製品価格の適正化をはかっております。

このような状況下、当社グループでは、販売・利益を確保するため、競争力のある高品質・低価格商品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した商品の早期開発に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高7,334百万円（対前年同四半期比111.6%）、営業利益378百万円（対前年同四半期比83.7%）、経常利益424百万円（対前年同四半期比82.4%）、四半期純利益261百万円（対前年同四半期比85.1%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本における当第1四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は7,166百万円（対前年同四半期比111.7%）、セグメント利益（営業利益）は366百万円（対前年同四半期比80.3%）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内合繊メーカー各社への販売は底を打ち、昨年の実績を上回りました。海外合繊メーカーへの販売は引き続き中国向けが好調で、外部顧客に対する売上高は785百万円（対前年同四半期比103.4%）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では、消費低迷と繊維製品の低価格化による海外シフトの影響で低迷していたテキスタイル分野の加工量が増加しました。炭素繊維は航空機、産業資材向けを中心に回復し、処理剤の販売が増加しました。また、化学工業分野では洗浄剤原料の販売が増加しました。海外では工業用繊維分野、衣料用分野、弾性繊維分野、高機能繊維分野とも好調で、特に中国では設備の増設・増産が行われており、販売金額が増加し、外部顧客に対する売上高は4,236百万円（対前年同四半期比112.7%）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、縮小傾向であった繊維全般の加工が底を打ち、関連加工剤の販売は昨年実績を上回りました。化学工業分野では洗浄剤原料の販売が回復し、また、原料価格の高騰で製品価格への転嫁をはかっており、外部顧客に対する売上高は237百万円（対前年同四半期比107.8%）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維関連では、織布向け製織用糊剤の販売は国内生産が縮小の中で堅調に推移しました。非繊維関連では、化粧品原料は堅調に推移しており、建材関係では住宅着工件数の低迷が続いておりますが、補修用途の拡大で有機高分子製品の出荷が回復傾向となりました。自動車生産は国内減少分を海外拡大で補い、ゴム成形品加工剤・熱膨張性マイクロカプセルの販売も好調に推移しており、外部顧客に対する売上高は1,907百万円（対前年同四半期比114.0%）となりました。

② インドネシア

インドネシアにおける当第1四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は167百万円（対前年同四半期比107.8%）、セグメント利益（営業利益）は14百万円（対前年同四半期比88.3%）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、帯電防止剤用途、防着剤の分野ともに前年並みとなり、外部顧客に対する売上高は1百万円（対前年同四半期比107.3%）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、織物用糊剤に併用される平滑剤が好調で、外部顧客に対する売上高は77百万円（対前年同四半期比107.4%）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、主力得意先の縮小・撤退後の新たな得意先の開拓が遅れておりますが、外部顧客に対する売上高は1百万円（対前年同四半期比181.9%）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、自動車、オートバイ向けの生産が順調で、タイヤ用防着剤が堅調に推移しました。また、アクリル糊剤の販売も国内向け、輸出向けともに順調に推移しており、外部顧客に対する売上高は87百万円（対前年同四半期比107.7%）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という）比100百万円（0.2%）増加して、46,601百万円となりました。流動資産は前期末比202百万円（0.7%）増加の30,862百万円、固定資産は前期末比101百万円（0.6%）減少の15,739百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が467百万円前期末より減少したものの、受取手形及び売掛金が402百万円、原材料及び貯蔵品が256百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。

固定資産減少の主な要因は、投資有価証券が44百万円前期末より増加したものの、機械装置及び運搬具が61百万円、建設仮勘定が54百万円前期末よりそれぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比345百万円(3.9%)増加の9,121百万円となりました。流動負債は、前期末比346百万円(4.2%)増加の8,704百万円、固定負債は前期末比0百万円(0.2%)減少の417百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、賞与引当金が216百万円、短期借入金が100百万円前期末よりそれぞれ減少したものの、買掛金が434百万円、その他が210百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比245百万円(0.7%)減少して37,480百万円となりました。

純資産減少の主な要因は、利益剰余金が246百万円前期末より減少したことによるものであります。

この結果自己資本比率は、前期末の80.7%から80.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績が概ね当初予定通り推移したことから、現時点におきましては平成23年5月13日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,190	15,722
受取手形及び売掛金	7,593	7,995
有価証券	1,914	1,858
商品及び製品	1,865	1,904
仕掛品	394	420
原材料及び貯蔵品	1,044	1,300
繰延税金資産	526	446
その他	1,135	1,216
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	30,660	30,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,212	6,230
減価償却累計額	△3,684	△3,735
建物及び構築物（純額）	2,527	2,495
機械装置及び運搬具	9,805	9,852
減価償却累計額	△7,827	△7,936
機械装置及び運搬具（純額）	1,978	1,916
土地	530	531
建設仮勘定	57	3
その他	1,515	1,518
減価償却累計額	△1,360	△1,371
その他（純額）	155	146
有形固定資産合計	5,249	5,093
無形固定資産		
その他	17	15
無形固定資産合計	17	15
投資その他の資産		
投資有価証券	9,325	9,369
長期貸付金	188	202
繰延税金資産	503	495
その他	559	563
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	10,574	10,629
固定資産合計	15,840	15,739
資産合計	46,501	46,601

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,458	6,893
短期借入金	800	700
未払法人税等	46	65
賞与引当金	271	54
その他	780	990
流動負債合計	8,357	8,704
固定負債		
退職給付引当金	235	233
資産除去債務	92	92
その他	90	91
固定負債合計	418	417
負債合計	8,775	9,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,517	6,517
利益剰余金	27,567	27,320
自己株式	△1,744	△1,744
株主資本合計	38,430	38,183
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△685	△702
為替換算調整勘定	△204	△197
その他の包括利益累計額合計	△890	△899
少数株主持分	185	196
純資産合計	37,725	37,480
負債純資産合計	46,501	46,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	6,569	7,334
売上原価	5,162	5,970
売上総利益	1,407	1,363
販売費及び一般管理費	954	985
営業利益	452	378
営業外収益		
受取利息	63	5
受取配当金	23	23
持分法による投資利益	13	17
投資事業組合運用益	18	—
その他	43	31
営業外収益合計	162	77
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	92	28
その他	5	2
営業外費用合計	100	32
経常利益	515	424
特別利益		
投資有価証券売却益	26	—
特別利益合計	26	—
特別損失		
固定資産除却損	1	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	20	—
特別損失合計	21	2
税金等調整前四半期純利益	519	422
法人税、住民税及び事業税	18	56
法人税等調整額	189	99
法人税等合計	207	156
少数株主損益調整前四半期純利益	311	266
少数株主利益	4	4
四半期純利益	307	261

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	311	266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△464	△17
為替換算調整勘定	12	13
持分法適用会社に対する持分相当額	1	1
その他の包括利益合計	△450	△2
四半期包括利益	△139	263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△149	252
少数株主に係る四半期包括利益	10	10

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	6,414	155	6,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	75	12	88
計	6,489	168	6,657
セグメント利益	456	16	473

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	473
セグメント間取引消去	△5
棚卸資産の調整額	△15
四半期連結損益計算書の営業利益	452

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	7,166	167	7,334
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74	11	86
計	7,241	179	7,420
セグメント利益	366	14	381

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	381
セグメント間取引消去	△1
棚卸資産の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	378

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。